

世界のリバークルーズに学ぶ

(一財) みなと総合研究財団
クルーズ総合研究所
副所長 田中三郎

瀬戸内海の大きさ

	面積	水深	周辺国数
① 地中海	300万㎡	1,500m	21ヶ国
② カリブ海	271.8万㎡	2,647m	13ヶ国
③ 瀬戸内海	2.3万㎡	38m	1ヶ国

資料：閉鎖性海域 (EMECS) 90会議資料



日本のリバークルーズ

日本のリバークルーズは……

都市部の観光を楽しむものから、自然豊かな景観を満喫できるものまで
全国各地域で特徴があります



資料：大歩危峡まんなかHP



資料：大阪水上バスHP

世界のリバークルーズ

アジア	メコン川・長江三峡
アフリカ	ナイル川
南米	アマゾン川
北米	セントローレンス川・ミシシッピー川・コロンビアリバー
欧州	ドナウ川・ライン川・ボルガ川……

■ <アメリカ> ミシシッピーリバークルーズ船



■ <エジプト> ナイルリバークルーズ船



■ <欧州> ラインリバークルーズ船



■ <中国> 長江三峡リバークルーズ船



■ <ベトナム> メコンリバークルーズ船



資料：アメリカンクルーズライン、バイキングクルーズライン、世紀遊輪、クワジーヨーロップクルーズ各社HP

欧州のリバークルーズ

<就航船舶>

年	隻数	総定員	キャパシティ
2025	402	55.527	1.859.616
2024	400	55.310	1.775.024
2023	392	54.360	1.685.518
2022	399	55.464	1.738.400
2021	410	56.551	1.737.919

<就航河川>

就航地	%
ライン川	28.5
ドナウ川	28.4
オランダ地域	8.5
ドウロ川	7
セーヌ川	6.2

<主要運航会社>

運航会社	隻数	総定員	キャパシティ
バイングリバークルーズ	73	13.328	434.448
クロヴィーヨーロッパ	38	4.554	180.004
アロサ	15	2.976	137.938
アマウターウエイズ	23	3.464	137.311
フェニックスライベン	21	3.723	124.714
合計	170	28.045	1.014.415



資料：欧州河川市場レポート2025CIN

欧州リバークルーズ事業事例

セレナーデ号・セレナーデII号

1976年：株式会社ニッコウトラベル創業
 2005年：セレナーデ号I号就航
 2007年：セレナーデII号就航
 2019年：株式会社三越伊勢丹ニッコウトラベル誕生



- 【船舶所有者】 オランダ現地法人
(ニッコウトラベルが主出資者)
- 【運航会社】 スイス現地法人
(数多くのリバークルーズ船を運航)
- 【就航期間】 3月～11月 (4・5・10・11月は、主に日本人向けに運航)

株式会社ニッコウトラベル

- ・熟年富裕層向け旅行会社
- ・1990年代にリバークルーズに注目、ヨーロッパや中国長江でのクルーズ船チャーター
- ・2000年前後にリバークルーズ船の建造・所有を目論む

セレナーデⅡ号クルーズ紹介

■ ルート

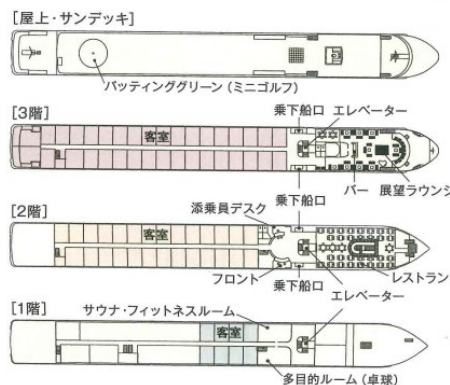


■ 料金 ※一例

成田(羽田)空港発着	コース番号:AHSACT11	
関西空港発着	コース番号:AHSAC011	
2025年4月20日(日)～5月1日(木)		
客室タイプ	エコノミークラス利用	1人部屋利用追加料金 (ツインタイプ)
1階客室(16㎡)	938,000円	260,000円
2階客室(16㎡)	988,000円	290,000円
3階客室(16㎡)	1,008,000円	300,000円

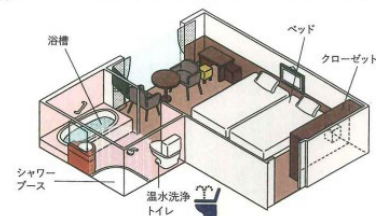


SERENADE SHIP DATA



- 船籍:オランダ ●全長:110メートル ●全幅:11.4メートル
- 総トン数:1,700トン ●乗客定員:137名 ●客室数:70室
- エレベーター完備 ●就航年:2007年 ●改装:2018年

客室の一例



欧州リバークルーズの特徴

- ☆ ヨーロッパリバークルーズは、主にドナウ川とライン川に集中
 - ・ドナウ川 ⇒ ウィーンやブダペストなどの歴史ある都市
 - ・ライン川 ⇒ 城やワイン畑が点在
- ☆ 旅客の大半は高齢者
 - ・北米が最も多く、英国、豪州、ドイツ
- ☆ 近年、中国人旅客に合わせたクルーズ商品開発
 - ・中国語を話すスタッフ、中国語船内標識等の船もある
- ☆ リバークルーズ商品⇒パッケージ商品化
 - ・クルーズ料金、寄港地ツアー、一部のアルコール飲料、航空運賃、クルーズ前後のホテル宿泊がセットになった料金
- ☆ 船 ⇒ 小型バイキングロングシップで高級な船内施設

リバークルーズ旅行のメリット

- 移動と観光のバランスが取れた、**リラックスした旅**
- 内陸水路を航行するため風・波が穏やかで、**船揺れを感じない**
- 小型の船舶であるため、**多くの港に入港**することができる
- 船が観光スポット近くに停泊するため、町の散策や**自由行動がしやすい**
- 寄港地では、**ガイド付きのツアー**が提供され現地の歴史や文化を学べる
- クルーズ中は、**美しい自然環境**を身近に感じることができる
- 船内は高級な客室・レストラン・バー・フィットネスジム・プールなどの設備が整っていて、クルーズ中も**様々なアクティビティ**を楽しめる

**船内でゆったりと過ごしながらか次の観光地に到着できるため
リラックスした旅を楽しむことができる**

リバー・オーシャンクルーズのまとめ

	リバークルーズ	オーシャンクルーズ
運航水域	河川や運河などの内水域	海洋や広大な海域
船の大きさ	小型：喫水が浅い	大型：喫水が深い
船の設備	基本的設備に特化 省エネ技術や排水処理技術が採用され、 環境への配慮が行き届いた設計	多様な娯楽設備
乗客数	100～200人程度 アットホームで快適な雰囲気を提供	数千人
旅程と目的地	毎日寄港 川沿いの都市中心部に直接停泊できるため、 観光地へのアクセスが非常に便利	遠距離航海もある
航行の快適性	揺れはほとんどない 風景や陸地が常に見えるため周囲の景色を 楽しみながら航行	揺れることもある
船内の雰囲気	親密で落ち着いた	活気があるリゾートライフ

ご清聴ありがとうございました



wave

クルーズ振興に向けた 瀬戸内海クルーズ推進会議の取り組みについて

令和 7年 1月24日



四国経済連合会 会長 長井 啓介
(瀬戸内海クルーズ推進会議 副代表)



瀬戸内海(屋島より) 提供:(公社)香川県観光協会



新アクションプラン（案） の策定状況について

1. 現行アクションプランの総括

2. 新アクションプラン骨子

- (1) 小・中型のラグジュアリー船による瀬戸内海クルーズの実現
- (2) 大型のクルーズ船による瀬戸内海クルーズの実現
- (3) 既存のフェリー航路及び海上タクシーを活用した瀬戸内海周遊観光の実現
- (4) 大型プレジャーボート受入拡大の実現

3. 今後のスケジュール

現行アクションプランの総括【ランドオペレーター、クルーズ船社、旅行会社の意見】

●瀬戸内海クルーズ推進会議アクションプラン（行動計画：令和元年策定）

<現行アクションプランに基づく具体的な取り組み>

民間事業者からの意見

①広域連携による戦略的な誘致活動の実施

- クルーズ船社等を招聘したセミナー、講演会の開催
 - ・探検クルーズの紹介（船社：ポナン）
 - ・アフターコロナ時代のクルーズ船受入（東武トップ）
 - ・大阪関西万博を契機としたクルーズ船誘致（万博協会）
 - ・MaaSの取り組みの紹介（JR西日本）
 - ・ヨット型客船のコンセプトと寄港地の運営アイデア（両備HD）ほか

②魅力的なクルーズプランの提案

- クルーズ船社等への誘致活動及びFAMツアーの開催
 - ・令和元年から7回の誘致活動（商談会）を実施。
 - ・令和2年、5年にFAMツアーを開催。
 - ・船社等とのパネルディスカッション。
- クルーズガイドブックの作成
 - ・春夏秋冬クルーズ、探検クルーズプラン
 - ・観光コンテンツ（世界遺産、国宝、グルメ、体験ほか）
 - ・瀬戸内海の情報（航行規制、岸壁スペックほか）

③戦略的な情報発信

- PR動画の作成
- クルーズ情報プラットフォーム
 - ・外航クルーズ船社向けのクルーズ情報を提供。
- 海外に向けた情報発信
 - ・平成31年シートレードへの参加、令和5年パンフ掲載。

<総括>

- ・港湾管理者や自治体と直接話ができる貴重な機会であり、寄港地の現場の要望やシーズを実感できる場であった。
- ・畿島を巡るFAMツアーは、ランドオペレーターにはこれまでになかった発想であり、有意義なものであった。
- ・瀬戸内海は寄港地間の距離が近いので、午前と午後で2か所を巡る商品を昨年より販売しているが、そのルーティングを考えるとFAMツアーは大変参考になった。
- ・瀬戸内海は航行すること自体がコンテンツであり、その解説やストーリーを考えるうえでも、陸からではなく、海から視察できたことは有意義な体験だった。

<継続的な課題> 新アクションプランへ

- ・瀬戸内海は、文化や風景の観光資源に注目している欧米人にとっても魅力がある。まだまだ未知のデスティネーションであり、もっと積極的に売り出していった方が良いのではないかと。
- ・外国船をチャーターした瀬戸内海クルーズを実施し大変好評であった。しかし、10万GT以上の船は瀬戸内海で航行することに船社はネガティブな印象であった。
- ・FAMツアーは、競争の観点から他社と合同ではなく、個社単位での実施が望ましい。また、インバウンドと日本人客を対象に分けるべき。お茶や着付け体験などは日本客にはマッチしない。
- ・クルーズガイドブックについて、瀬戸内海を航行するクルーズ船のサイズに合わせたカテゴリーにより、船社にとっての有用性に繋がると考えられる。

☆ 令和5年新たな外航クルーズ船社の誘致及び新たな港への寄港が実現した。

新アクションプラン骨子

小・中型のラグジュアリー船による瀬戸内海クルーズの実現



- クルーズ船が寄港したことのない地方部等における更なる観光振興を目指し、小・中型のラグジュアリー船による瀬戸内海クルーズを実現する

既存のフェリー航路及び海上タクシーを活用した瀬戸内海周遊観光の実現



出典:小豆島フェリー株式会社より提供

- 離島における更なる観光振興と航路利用者の増加による持続可能な生活航路の構築を目指し、既存のフェリー航路及び海上タクシーを活用した瀬戸内海周遊観光を実現する。

瀬戸内海が世界的に知名度の高い「エーゲ海」や「カリブ海」等に並ぶブランド力の高いクルーズの海となることを目指す

- 地方都市部における更なる観光振興を目指し、大型のクルーズ船による瀬戸内海クルーズを実現する。
- 富裕層の長期滞在に伴う地方部等の経済活性化を目指し、大型プレジャーボートの受入拡大を実現する。



大型のクルーズ船による瀬戸内海クルーズの実現



大型プレジャーボートの受入拡大の実現

1. 小・中型のラグジュアリー船による瀬戸内海クルーズの実現

小型ラグジュアリー船による瀬戸内海クルーズについて

○2023年にポナン社(仏)より、瀬戸内海を巡るエクスペディションクルーズが商品化され、同社からは2024年以降も瀬戸内海クルーズが継続的に販売されている。

ル・ソレアル(Le Soleal)
ポナン(フランス) / Ponant(France)

総トン数	10,922トン
全長/型幅	142.1m/18m
喫水	4.74m
乗客定員	264人
乗組員数	145人

写真:令和5年4月1日 高松港玉藻地区への寄港状況

「瀬戸内と西日本沿岸クルーズ」(2025年4月)



「穏やかなる瀬戸内海」(2023年5月)



○ROYOTTプロジェクト株式会社は、日本で初となるヨットスタイルの客船を2027年に竣工予定。



2023年12月20日 ボルトガルの造船会社(ウェスト・シー)との調印式後の記念写真

出典:西儀グループHP



1. 小・中型のラグジュアリー船による瀬戸内海クルーズの実現



(1) 民間事業者等が抱える課題の一部

【課題】観光資源の磨き上げ

- ・地元住民の生活を垣間見たり、日本の文化・歴史を体験できる特別なツアーが求められている。
- ・瀬戸内海は食、自然、文化など魅力的なコンテンツがたくさんあるにも関わらず、必ずしもツアーとして確立できていない。

【課題】地元調整

- ・寄港地を決定する際に必要となる地元関係者(漁業関係者等)との調整について、行政側からサポートをいただきたい。



構成員からのアクション

(2) アクションの一部

【課題】観光資源の磨き上げ

【□□県よりアクション】

- ・瀬戸内海の多島美、アートや食、盆栽など独自の地域資源に対して特別感のある演出や体験を加えるよう関係者へ助言するなどし、県内周遊につながるような付加価値の高いコンテンツの造成に取り組む。

【課題】地元調整

【△△市よりアクション】

- ・関係者との橋渡しや良好な関係性の構築に向けたサポートを地元船舶代理店とともに進行。



2. 大型のクルーズ船による瀬戸内海クルーズの実現



日本に配船されている代表的な大型クルーズ船

ダイヤモンド・プリンセス(Diamond Princess)

プリンセス・クルーズ(アメリカ)/Princess Cruises(USA)



写真: 令和5年3月30日 松山港外港地区への寄港状況

— 主要目 —

- 総トン数……………115,906トン
- 全長/型幅……………290.00m/38m
- 喫水……………8.55m
- 乗客定員……………2,706人
- 乗組員数……………1,100人

瀬戸内海を航行するクルーズの例

バイキング・エデン(Viking Eden)

(チャイナ・マーチャント・バイキング・クルーズ)



写真: 令和6年12月6日 宿毛湾池島地区への寄港状況

— 主要目 —

- 総トン数……………47,842トン
- 全長/型幅……………228m/29m
- 喫水……………6.85m
- 乗客定員……………930人
- 乗組員数……………545人

神戸発着 瀬戸内海と新春の西日本を巡る
ニューヨーククルーズ8日間(2024/12/28~2025/1/4)





2. 大型のクルーズ船による瀬戸内海クルーズの実現

(1) 民間事業者等が抱える課題の一部

【課題】ガイド不足

- ・当該観光コンテンツをしっかりと理解し、英語でその魅力を十分に伝えることができるガイドが不足している。

【課題】瀬戸内海の航行制限

- ・備讃瀬戸航路、来島海峡航路においては巨大船の夜間航行規制があり、トラブル等で少しでも遅れれば瀬戸内海を航行できなくなるため、瀬戸内海クルーズはどうしてもリスクがある。
- ・クルーズ商品は2～3年前から販売するものである一方、来島海峡航路を本当に通過できるのか1年前にしかわからないため、瀬戸内海クルーズを商品として作りづらい。



構成員からのアクション

(2) アクションの一部

【課題】ガイド不足

【△△市よりアクション】

- ・観光セクションによる通訳ガイドを育成し、分散型観光できるよう取り組む。
- ・地元大学の外国人留学生にガイドととして対応いただく。



3. 既存のフェリー航路及び海上タクシーを活用した瀬戸内海周遊観光の実現

香川県内における主なフェリー航路網

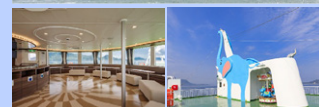


SHIP DATA

船名……………第三しよどしま丸
 総トン数……………1,351 トン
 全長……………72 m
 幅(最大幅)……………15 m
 深さ……………4 m
 航海速度……………13.5 ノット
 進水年月……………令和6年5月
 旅客定員……………490 名
 積載能力……………乗用車 60 台



出典:小豆島フェリー株式会社より提供



出典:国際両備フェリー株式会社HPより

No.	船種	寄港地	船社名等
①	フェリー	高松-小豆島(坂手)-神戸	ジャンボフェリー(株)
②	フェリー・高速艇	高松-小豆島(土庄)	小豆島フェリー(株)
③	フェリー	高松-小豆島(池田)	国際両備フェリー(株)
④	フェリー・高速艇	高松-直島(宮浦)	四国汽船(株)
⑤	フェリー	高松-豊島(家浦)	(株)豊島フェリー
⑥	旅客船	高松-女木-男木	雌雄島海運(株)
⑦	旅客船	直島(宮浦)(本村)-宇野	四国汽船(株)

No.	船種	寄港地	船社名等
⑧	フェリー	直島(宮浦)(風戸)-宇野	四国汽船(株)
⑨	高速船	直島(宮浦)-豊島(家浦)-犬島	四国汽船(株)
⑩	フェリー・旅客船	小豆島(土庄)-豊島(唐櫃)-豊島(家浦)-宇野	小豆島豊島フェリー(株)
⑪	フェリー	小豆島(土庄)-新岡山	国際両備フェリー、四国フェリー
⑫	フェリー	小豆島(福田)-姫路	小豆島フェリー(株)
⑬	旅客船	高松-大島	大島青松園



3. 既存のフェリー航路及び海上タクシーを活用した瀬戸内海周遊観光の実現

(1) 民間事業者等が抱える課題の一部

【課題】観光船としての位置付け

・移動時間も旅行の一部であり船内施設の充実を図っているが、旅行関係者からは3h程度の乗船ではクルーズではなく、単なる移動手段として捉えられている。

【課題】クルーズとの連携

・クルーズ船旅客がフェリーを利用していることはほとんどないのが実感。
・クルーズ船旅客がフェリーを利用する場合、事前にクルーズ会社より時刻やコンテンツプランを提示しないと、利用が見込めない。



構成員からのアクション

(2) アクションの一部

【課題】観光船としての位置付け

【〇〇部よりアクション】

・所管フェリー事業者に対して観光庁や国土交通省の各種補助(インバウンド対応整備やDX化支援)の活用を支援していく。

【課題】クルーズとの連携

【△△町よりアクション】

・離島へのフェリー航路を、フェリー発着港に寄港するクルーズ船社にPRし、「既存航路」を活用した離島への誘致活動を行う。

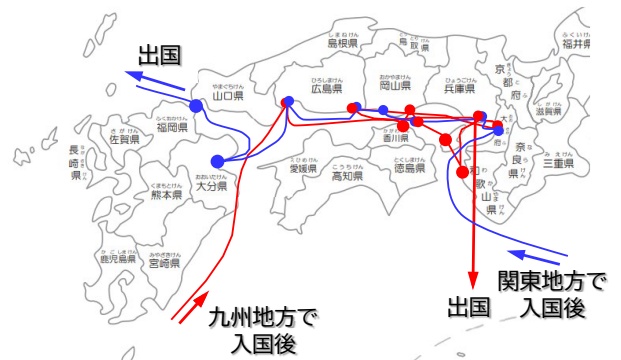


4. 大型プレジャーボート受入拡大の実現

大型プレジャーボート寄港時の動き(事例)



ルート① — の滞在期間: 約80日
ルート② — の滞在期間: 約10日



瀬戸内振興に関する民間事業者の取組の紹介

●SETOUCHI ISLANDER

- 瀬戸内広域のチャーター船事業6社11隻で瀬戸内海のクルーズ専門会社(DMC)として2024にスタートし、個人旅行者(FIT)を対象とした瀬戸内周遊クルーズツアー(アイランド・ホッピング)を企画・実施。
- 瀬戸内海を「神戸・大阪エリア」「岡山・香川エリア」「しまなみエリア」「広島エリア」の4つのエリアに分割し、日帰りから2泊3日程度のクルージングを提案。



Vessels(使用船舶の一例)

出典:SETOUCHI ISLANDER



4. 大型プレジャーボート受入拡大の実現



(1) 民間事業者等が抱える課題の一部

【課題】係留施設の確保(ハード面)

- ・海外旅客は大きなサイズのヨット(40ft以上)を求めているが、瀬戸内地域は係留施設が全般的に不足している。
- ・港別に見ると、高松港・宇品港などハブ港となり得る港湾においては100ft超え、その他の港湾では80ft以下の大型プレジャーボートの受け入れ施設が必要である。
- ・給電や給水といった付帯施設も充実させる必要がある。



【課題】係留施設の確保(ソフト面)

- ・係留施設の事前予約や長期係留ができないと計画を立てることができないため、係留許可を柔軟に行えるようにしてほしい。

(2) アクションの一部 **構成員からのアクション**

【課題】係留施設の確保(ハード面)

【〇〇県よりアクション】

- ・大型プレジャーボートの受入に必要な係留施設の整備を進めている。給電や給水設備等の付帯施設についても、利用者等のニーズを踏まえ順次進めていきたい。



【課題】係留施設の確保(ソフト面)

【〇〇県よりアクション】

- ・係留施設毎に事前予約可能な日数を設定する。長期係留については、1回当りの連続係留日数は限りがあるものの、使用許可申請を連続して出せるよう工夫する。

10



今後のスケジュール



日程	内容
令和7年3月まで	各エリア会議等 → 新アクションプラン(案)の検討・調整
令和7年4月下旬	第9回瀬戸内海クルーズ推進会議 → 新アクションプラン(案)をとりまとめ
令和7年5月10日	瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 (開催地: 愛媛県今治市) → <u>新アクションプラン公表</u>

11

マンダリン オリエンタル 瀬戸内と クルーズサービスについて

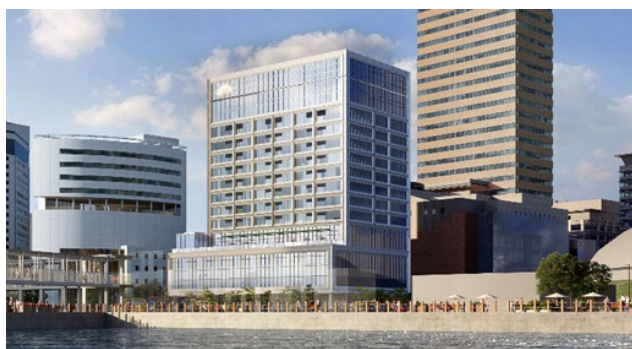
合同会社四国まちづくり&おもてなしプランニング

12

マンダリン オリエンタル 瀬戸内

事業概要

事業主体	合同会社四国まちづくり&おもてなしプランニング (SMOP) 参画企業：阿波銀行、伊予銀行、サンケイビル、四国銀行、四国電力、四国旅客 鉄道、竹中工務店、日本政策投資銀行、百十四銀行 (順不同)
運営委託先	マンダリン オリエンタル ホテルグループ
開業時期	2027年夏頃 2地点同時オープン
施設構成	高松 92室 地上13階地下1階 直島 22室 メイン棟(地上2階建)、離れ3棟 *いずれもレストラン・バー・スパ・ジムを併設



13

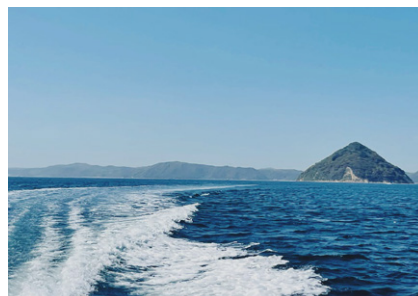
世界に誇る瀬戸内の魅力

マンダリンオリエンタルの理念

「センス・オブ・プレイス」：その土地の歴史と文化に敬意を表するホテルづくり

瀬戸内に対する評価ポイント

- ・ 島々が織りなす多島美
- ・ 直島をはじめとする自然・街並みとアートの融合
- ・ 唯一無二の文化・伝統
- ・ 瀬戸内が育んだ豊かな食
- ・ 高松を中心とした島への良好なアクセス など



14

クルーズサービス

マンダリンオリエンタル

- ・ グローバルに瀬戸内の魅力を発信
- ・ 島の魅力と景観を満喫できるクルーズサービスを検討

クルーズ振興への期待

- ・ 大阪万博を契機に大阪、神戸から各港を起点に瀬戸内全域へ
- ・ 官民および事業者間の連携による魅力的なクルーズサービスの拡充



出典：瀬戸内アイランドクルーズ様
Mandarin Oriental Hotel Group

15

瀬戸内クルーズネットワーク構想

～島たびクルーズで瀬戸内の魅力を世界へ～

【瀬戸内クルーズ 3つの提言】

- 島めぐりを活性化 「島たびプラットフォーム」
- 地域で建造・運営 「せとうちプラチナクルーズ」
- クルーズ客を受け入れる 「にぎわいみなとまちづくり」



1. 日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）

沿革 1983年4月 社団法人設立

会員 団体・企業・自治体・大学・NPO等43業種約220社で構成。年間延べ約1万人が国益・公益的立場で活動企画、政策提言。

会長 進藤 孝生 日本製鉄(株) 相談役

副会長 宮本 洋一 (一社)日本建設業連合会 会長
今井 誠司 (株)みずほフィナンシャルグループ 取締役会長
垣内 威彦 三菱商事(株) 代表取締役会長
中村 英夫 東京都市大学 名誉総長

2. 「国土・未来プロジェクト研究会」活動概要

組織

- 最高顧問 中村 英夫 <JAPIC副会長・東京都市大学名誉総長>
- 委員長 藤本 貴也 <パシフィックコンサルタンツ(株)特別顧問>
- 委員 民・官・有識者により構成 <約50団体・約160名>

活動概要

- ・2015年 研究会設立
- ・2017年 「提言！次世代活性化プロジェクト」発行
- ・2022年3月 国土造りプロジェクト構想 発表会・シンポジウム開催
- ・2022年10月 「JAPIC国土造りプロジェクト構想」刊行
(「提言 次世代活性化プロジェクト」増補改訂版)



3. 「国土造りプロジェクト構想」(2022/3/9シンポジウム)

□12の重点プロジェクト

<http://www.japic.org/information/240.htm>



目次 Contents

1. 瀬戸内地域の現状と課題
2. 海外におけるクルーズ参考事例
3. 瀬戸内の小型クルーズとは
－クルーズ推進 3つの提言－
4. 瀬戸内活性化の西日本への展開

1. 瀬戸内地域の現状と課題

瀬戸内の観光資源



提供：岡山県観光連盟



提供：広島県



提供：瀬戸内Finder
(<https://setouchifinder.com/>)

観光振興の4大要素：気候・自然・食事・文化が充実

世界から注目される瀬戸内地域

- ・英 日刊新聞『The Times』(2018年9月)
Luxury travelに瀬戸内島めぐり
- ・米 ニューヨーク・タイムズ誌電子版(2019年1月)
「2019年に行くべき52か所」に「瀬戸内」7位
- ・米 女性誌「VOGUE」電子版(2019年9月)
「2019年秋行くべきスポット5選」に 瀬戸内国際芸術祭



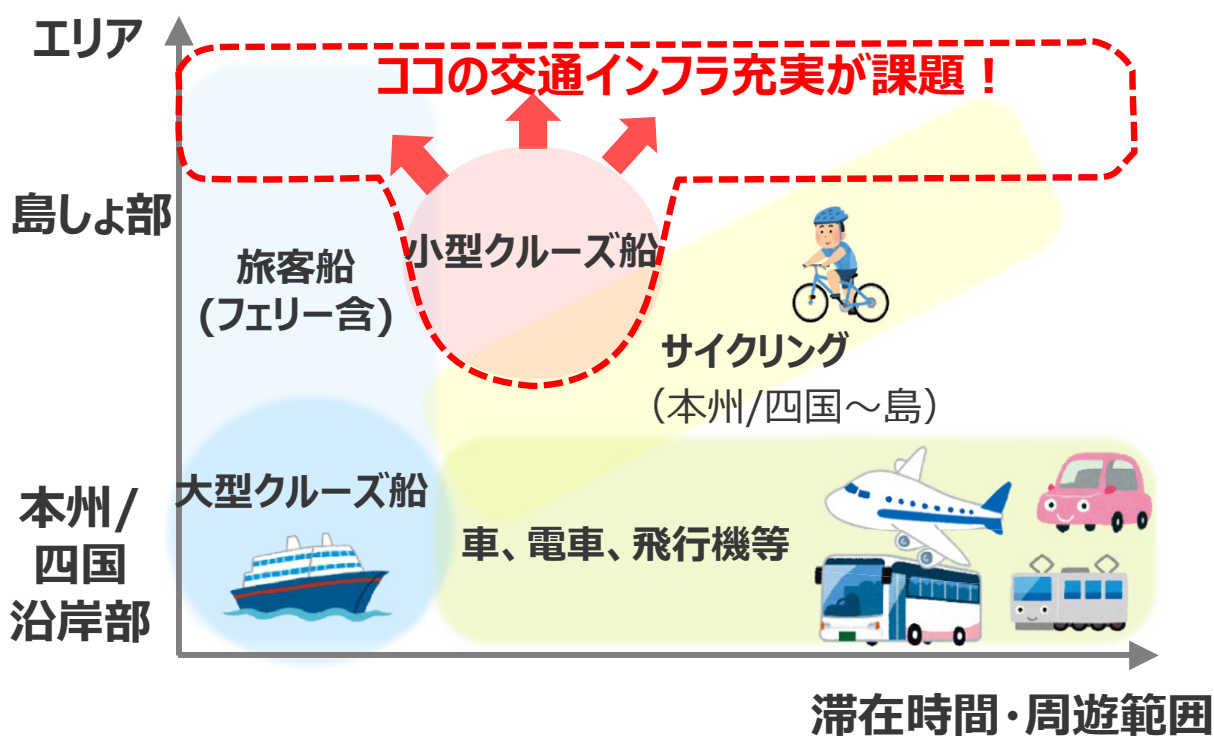
提供：岡山県観光連盟

高い評価を受けたせとうちの多島美

- ・観光振興の4大要素※：「気候」「自然」「文化」「食事」が充実
- ・欧米、豪州、ニュージーランド等の富裕客層に好まれる
- ・歴史、芸術など、欧米に好まれる観光要素多い

世界トップの観光地と肩を並べられるポテンシャル

※出典：デービッド・アトキンソン「新・観光立国論」 2



瀬戸内の魅力である島しょ部へのアクセス性を高めるには
小型船舶が重要！

2. 海外におけるクルーズ参考事例

◆欧州 リバークルーズ

7~10日程度を主流にしたプレミアムクラスのクルーズ
移り変わる風景や旧市街の散策

◆ベトナム ハロン湾クルーズ

乗客数 250万人/年

観光船（船内宿泊不可）：331隻、クルーズ船（船内泊可）：202隻



提供：Viking Cruises

欧州 リバークルーズ



提供：iStock

ベトナム ハロン湾クルーズ

4

3. 瀬戸内の小型クルーズとは

クルーズを推進する上での障壁

- ① 既存の定期航路では多くの島をめぐることが難しい
(住民中心の航路・県境をまたがない航路)
- ② 宿泊しながら多くの島をめぐるクルーズ商品自体が不足
(島しょ部に着岸できる船上泊可能な小型船舶の不在)
- ③ 観光客の受入れ環境の不足と魅力を活かすきれないみなとまち
(着岸施設、駐車場、2次交通、船客受け入れ施設、誘致体制など)



瀬戸内を横断するような
周遊ルートがない



提供：yuko fukui

5

3. 瀬戸内の小型クルーズとは

クルーズ推進 - 3つの提言 -

提言 1

「島めぐり」の活性化を目指した「**島たびプラットフォーム**」

提言 2

地域でクルーズ船建造・運用「**せとうちプラチナクルーズ**」

提言 3

クルーズ客を受け入れる「**にぎわいみなとまちづくり**」

※JAPICによる分類

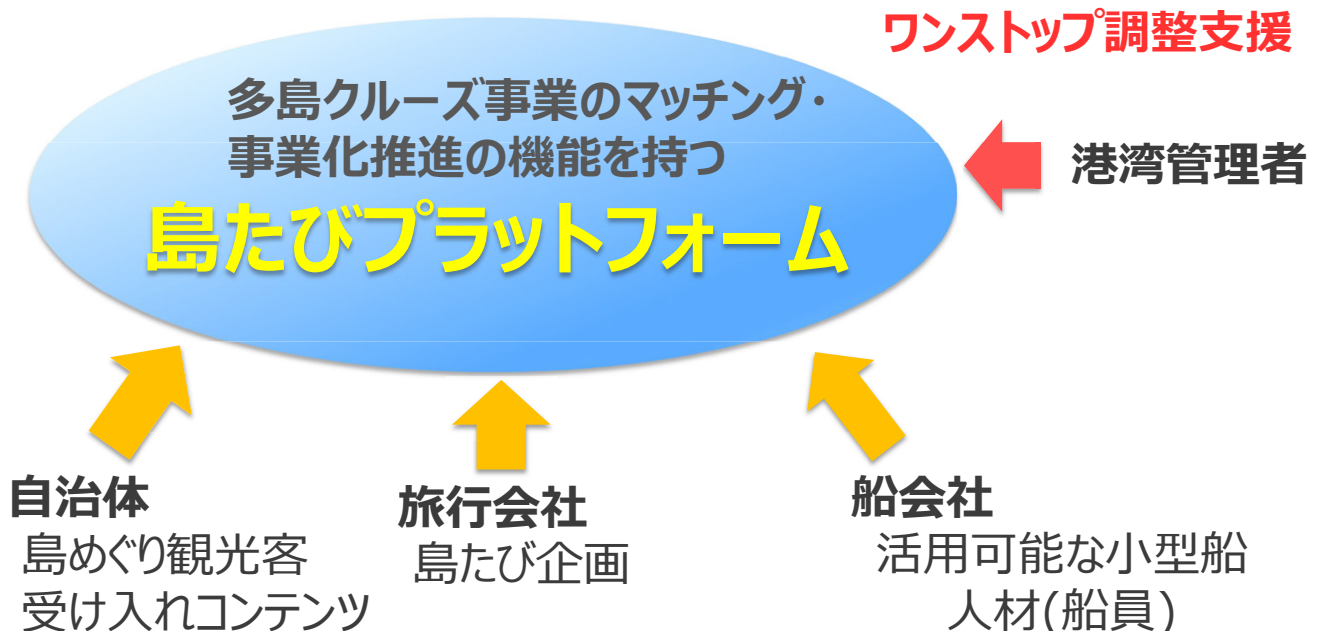
規模クラス	中型クルーズ船	小型クルーズ船 【宿泊機能あり】	小型旅客船 【宿泊機能なし】
ラグジュアリ	飛鳥Ⅱ、にっぽん丸 Star Legend	ガンツウ 海の七つ星プロジェクト	—
プレミアム	セレブリティ・ミレニウム	<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> 提言2 地域で せとうちプラチナクルーズ </div>	おりんぴあどりーむせと SEA PACEO SEA SPICA (高速艇/フェリー)
カジュアル	フェリーさんふらわあ 「昼の瀬戸内感動クルーズ」		<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; display: inline-block;"> 提言1 島たびプラットフォーム </div>
対象となる寄港地	中核都市港(広島・松山・高松・呉・坂出・小豆島)	島しょ部	島しょ部
		<div style="border: 2px solid green; padding: 5px; display: inline-block;"> 提言3 にぎわいみなとまちづくり </div>	

6

提言 1

「島めぐり」の活性化！「**島たびプラットフォーム**」

◆短期間で多くの島めぐりが可能な
カジュアルクルーズを提供



7

提言 1

想定する島たび企画イメージと効果

世界遺産・軍港と海軍カレー・みかんの香りと星空を楽しみ、瀬戸内のハワイでイルカウォッチング！4島をめぐる贅沢な2日間！



出典：NTTインフラネット株式会社

- ・3県をまたぐ航路（乗り換え6回）
- ・定期航路利用では2泊3日



新規航路で1泊2日に短縮！

8

提言 2 「せとうちプラチナクルーズ」

欧米インバウンド、国内シニア層をターゲットにした「プレミアムクラス」のクルーズ



- 船の規模：1000トン程度
- 乗客数：100～150名
- 比較的高級なビジネスホテル並みの宿泊設備

9

提言2 地域資本小型クルーズ

◆経済効果

寄港地：3~4万円/人・日 母港：42.2万円/人・日

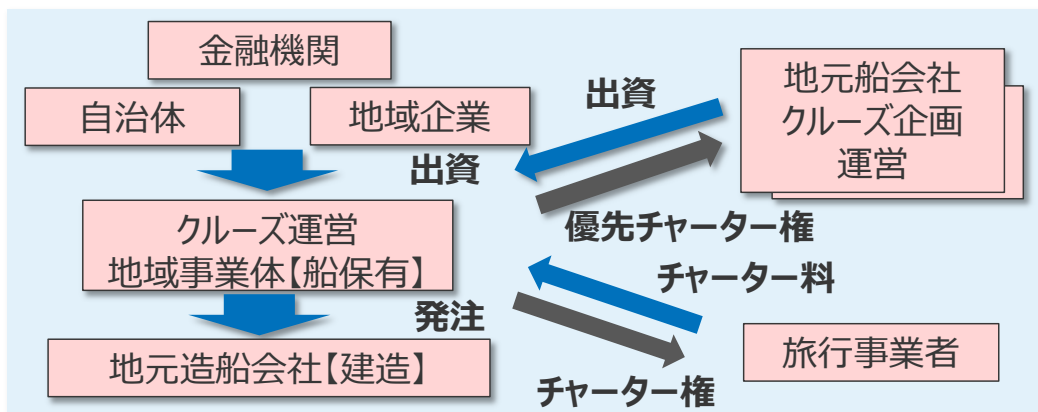
・海外&大型クルーズ寄港効果 約46億円/年（全寄港分実績試算）

・地域資本小型クルーズ建造&運行効果

約33億円/年・隻+建造費15億円/隻

試算条件) 1回あたりの乗船者 100人、毎週出港、寄港地は3か所

◆官民連携企業体&上下分離方式による事業運営



10

提言3 目指す「にぎわいみなとまち」とは

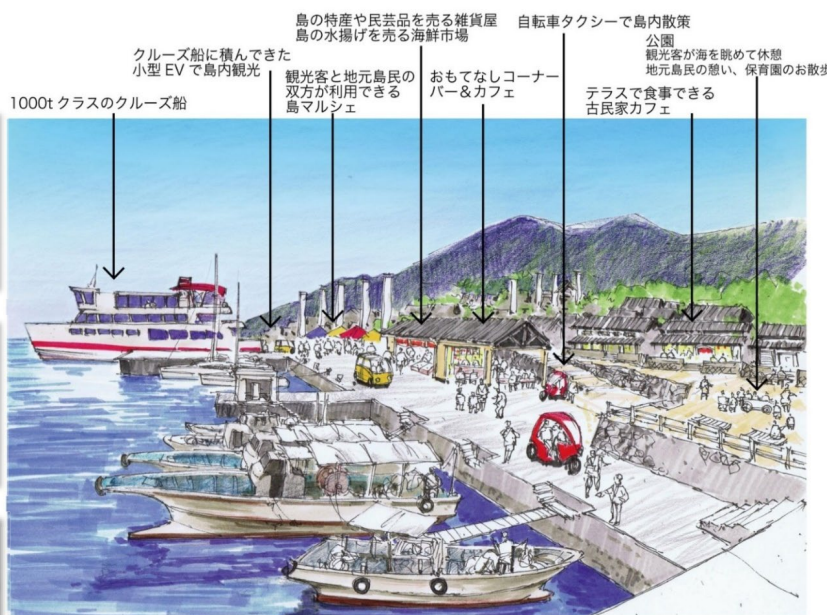
観光客と住民が共生するみなとまち

クルーズ客が期待するみなとまち機能

小型クルーズ寄港を想定したリーズナブルな着岸施設

寄港地の情報をお知らせする情報提供施設

EVカーシェア、レンタサイクルなど2次交通拠点



住民が期待するみなとまち機能

島民・観光客双方が利用する飲食・商業拠点

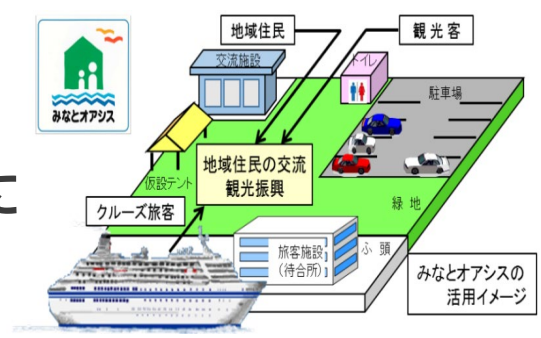
島民の日常利用が可能な公的施設（公民館/役場/図書館等）

災害時に活用可能なマルチユーススペース（日常：公園、寄港時：受入広場）

11

提言3 「にぎわいみなとまちづくり」を進めるしかけ

- ◆ 「みなとオアシス」の活用
- ◆ 寄港に伴う収入をみなとまちづくりに



みなとまちづくりにかかわる支援制度の一例

◆ せとうち多島美にふさわしい景観形成基準の策定

国 県 オブザーバー

A町 B町 C町 D町

クルーズ事業者

せとうち多島美 景観保全協議会

- 共通の景観形成基準
- クルーズ目線で景観区域指定



提供：photo AC 京都府伊根町 12

4. 瀬戸内活性化の西日本地域への展開

瀬戸内循環交通ネットワーク形成

- ・クルーズネットワークの形成と循環交通ネットワークの相乗効果により瀬戸内・西日本が活性化
- ・3モード（高速道路・高速鉄道・クルーズ）が地域移動の多様化・円滑化を実現
- ・関西、九州圏を巻き込み観光以外の経済効果も大きく西日本の地域活性化に貢献



出典：NTTインフラネット(株)の地図に加筆

4. 瀬戸内活性化の 西日本地域への展開

循環交通ネットワークを構成 する主要プロジェクト構想

プロジェクト構想	概要
①四国の新幹線	基本計画『四国横断新幹線』に基づく、岡山市～高知市、および『四国新幹線』に基づく徳島市～松山市により形成される十字ルートの整備
②クルーズネットワーク 基盤整備	瀬戸内海内のクルーズネットワークの整備（護岸・旅客施設・駐車場・二次交通・多言語CIQ等）
③下関北九州道	関門トンネルと関門橋の老朽化対策、及び東アジアのゲートウェイとしての関門地域の地域振興を図る道路整備（海峡幅0.7～2km）
④安芸灘架橋	架橋による安芸灘とびしま海道、及び瀬戸内しまなみ海道の広域周遊ルートの整備
⑤紀淡海峡連絡路	11kmの海峡を横断する中央支間長2,000mを超える吊り橋による海峡横断橋梁の整備
⑥関西大環状線	紀淡海峡連絡道路、神戸淡路鳴門自動車道、新名神と京奈和自動車道などでつながる一周300kmの大環状道路の整備
⑦東九州新幹線	福岡から大分市、宮崎市を経て終点の鹿児島市へ至る新幹線路線の整備（延長390km）
⑧新大阪～関西空港 ～四国連絡高速鉄道	新幹線を新大阪から大阪駅に乗り入れ、関空へ延伸し、さらに紀淡海峡大橋、大鳴門海峡を經由して四国へ延伸する路線整備
⑨豊予海峡連絡路	大分県、愛媛県を鉄道、及び道路で結ぶ連絡路の整備（橋梁構想と海底トンネル構想有り、海峡幅13.9km、最大水深約195m）

